

ふるさと・きずな維持・再生支援事業 事業提案書

【申請団体】

申請団体名	NPO 法人 団塊のノーブレス・オブリージュ
(協議体の場合のみ) 代表団体名	
(申請団体の) 代表者の職・氏名	
協議体構成団体①	
協議体構成団体②	
協議体構成団体③	
協議体構成団体④	

【団体情報】

団体ホームページ	
又は公開予定日	http://dankai.jp

※情報公開を行っておらず、かつ公開する見込みのない団体については応募できません。

1 事業名

請戸小学校津波避難物語の制作と広報支援事業

2 事業の目的及び地域課題（200字以内）

※ 今回申請する事業を実施することにより解決を図ろうとする、東日本大震災、若しくは、原子力災害を契機とした地域課題を記載下さい。

昨年3月津波の直撃を受けた浪江町請戸地区の請戸小学校を訪問した際、津波が小学校を壊滅的に襲ったが、子ども達は先生と共に1キロ以上離れた大平山に向かって一目散に走り、全員無事避難できた事を知った。

この事実はあまり詳しく知られていないとのことから、我々は広くその記録を伝承してゆきたいと考えた。前年度この助成金が採択され、絵本‘請戸小学校物語 大平山をこえて’5,000部を制作し、紙芝居も作成するに至った。

この絵本は小学生向けの全国版新聞や浪江町ホームページでも紹介されたことから希望者、関係者に多数配布する事ができた。今年度は絵本に加えサイトや電子媒体等の制作活用を実施するほか、福島紙芝居活用グループとも連携して、語りのノウハウの伝授を受け、絵本も配布しながら県内外に避難されている浪江町や福島の方々にこの物語を紹介し支援する活動を展開したいと考えている。

3 事業の必要性（200字以内）

※ 当該事業を実施するにあたり、そのニーズを把握している場合は、具体的に記載願います。

前年度事業で目的とする絵本‘請戸小学校物語’の制作を完了し本格的な配布も進んだが、この絵本への評価が高く反響も大きかったことから、県内外の団体や個人との交流も拡がり、今年度は更にWEBサイトや電子媒体ツールの制作充実を行う必要性を感じている。

また避難されている福島の方々の所に出向いて紙芝居の上演と絵本の配布を行うことにより福島の方々に勇気を持って頂ける事、及び絵本‘請戸小学校物語’を県内外の同じような環境の子どもたちに広く読んでもらい、自分達には大平山に相当する逃げる場所があるのだろうかを確認して頂ける機会の一助となればと考えている。

4 事業内容

【実施取組1】

（取組内容がわかる見出しを記載する）‘請戸小物語’広報活動

主な活動地域：東京都新宿区早稲田周辺 | 実施期間：H27/6月～H28/3月末

【取組内容】（100字以内）

※ 上記2の地域課題解決、及び、上記3の事業の必要性のため、どのような事業を実施するのか具体的かつ簡潔に記載願います。

昨年は絵本への高い評価を頂き、5,000部配布を終える事ができる状況である。

更にこの話を判りやすく紹介するためプロモーションビデオやパンフレットの制作及び絵本の紙媒体だけでなく、WEB等のメディアに展開し広報活動を実施する。

具体的には請戸小物語制作ビデオやパンフレットを‘請戸小物語’サイトを作成し、掲載するものである。Namie-tabuletさんなどと情報共有できれば良いと考えている。

【実施取組 2】

(取組内容がわかる見出しを記載する) 紙芝居 ‘請戸小学校物語’の上演	
主な活動地域：南相馬 いわき他	実施期間：H27/6月～H28/3月末

【取組内容】(100字以内)

※ 上記2の地域課題解決、及び、上記3の事業の必要性のため、どのような事業を実施するのか具体的かつ簡潔に記載願います。

浜通りから避難されている方々の所に紙芝居公演を行う。

H27/7：福島 語り部実習 DN03名が語り部の学習を行う。

H27/7：牧之原 助成金対象外 紙芝居公演の予行演習

H27/9：地元早稲田大学内‘地球感謝祭’助成金対象外 地元で予行演習

H27/11：南相馬 避難されている方へ紙芝居の紹介並びに絵本の配布

H28/1：いわき 避難されている方へ紙芝居の紹介並びに絵本の配布

H28/3：練馬 助成金対象外 ボランティア団体への紹介

※実施取組に合わせて、数を追加してください。

【実施取組 3】

(取組内容がわかる見出しを記載する) 紙芝居 ‘請戸小学校物語’の語り部養成	
主な活動地域：南相馬 いわき他	実施期間：H27/6月～H28/3月末

【取組内容】(100字以内)

※ 上記2の地域課題解決、及び、上記3の事業の必要性のため、どのような事業を実施するのか具体的かつ簡潔に記載願います。

紙芝居上演に先立ち福島語り部の方から我々DNO 仲間が語り部研修を受ける。

牧之原や早稲田などは我々が語りを実施し、南相馬やいわきなどには浪江の方に語りを行って頂く予定である。

H27/7：福島 語り部実習 DN03名が語り部の学習を行う。

H27/11：南相馬 避難されている方へ紙芝居の紹介

H28/1：いわき 避難されている方へ紙芝居の紹介

H28/3：練馬 助成金対象外 ボランティア団体への紹介

5 事業効果（各200字以内）

※ 当該事業を実施することにより、どのような効果が生まれるか具体的に記載してください。

・避難されている浪江町や福島の方々への支援

この請戸小学校物語は子どもたちが大津波被災の浪江町で、海拔ほぼゼロメートル、避難場所の高台（山）まで1.5kmという状況で、奇跡的に全員無事に避難できたことを伝えるものである。

これを世に広く伝え後世に記録を残すことは、共通の経験をされた福島の方々には誇りと勇気をもって頂くものである。

・同じ環境の子どもたちへ避難すべき場所を心得ているかの確認

この請戸小学校物語は‘大平山をこえて’を副題としているが、海沿いの同じ環境の学校の子どもたちにこの事実を知って貰うことにより、地震発生時自分に逃げるべき場所があるかを確認して頂く機会を与えるものである。

【情報発信力】復興関連の取組（イベント等）を事業の主な目的としている場合のみ記載

- ・朝日小学生新聞及び毎日小学生新聞に掲載された。
- ・浪江町ホームページ及び町運営の Namie-tablet 浪江新聞に公式に絵本制作発刊が紹介され、無償配布と言う事もあって浪江町民や請戸小学校関係者から多くの入手依頼が相次いでいる。
- ・今年度‘請戸小物語’ホームページを作成し、更に皆さんからアクセスし易い環境を整備しこの物語の紹介を始め、情報ネットワークを構築する。
- ・県内外で紙芝居上演を実施するが、県外では地元の団体と連携し、福島からの被災者を主体とした上演会の実施を予定している。
- ・隔週土曜日に東京の早稲田の NPO 拠点で‘請戸小プロジェクト会議’を開催し、関係者に加え、関心の高い方をお招きし情報交換を図るものである。

6 実施団体の運営力強化（各200字以内）

【人材育成の観点】※活動を通じた外部専門家の招聘や研修の実施により、団体スタッフの専門的知識やノウハウの獲得が見込まれる点について記載してください。

- ・紙芝居上演にて福島の紙芝居グループとの連携を図り、その体験やノウハウを提供し研修協力をしてもらおう。

語り部には我々メンバーも参加するが、できれば請戸小の父兄や生徒からも募集し、参加協力して頂く。

- ・紙芝居上演に際し、絵本も配布し理解の向上を図ると共に、他の活動団体と協調協同する事により運営力を強化してゆきたい。

【ネットワーク形成の観点】※活動を通じて復興・被災者支援に関する地域間、支援団体間の情報共有やノウハウの移転等を実施するものについて記載してください。

- ・絵本配布に関しては前年度多数の配布実績に基づき、更に配布された方を再度調査分析する事により、避難された方や避難すべき場所を意識する方々のネットワークを構築したいと考えている。

- ・紙芝居と絵本配布と連動して、他の活動団体とネットワークを組んでいく。

具体的には我々早稲田と練馬、茅ヶ崎、越谷、小平、牧之原、藤枝、いわき、南相馬、福島市、桑折町、二本松、郡山などと連携して行く予定である。

7 事業スケジュール（月ごと、箇条書き）

月	実施取組 1	実施取組 2
6月	請戸小プロジェクト会議 2回 HP 請戸小物語制作検討 広報用パンフレット検討	紙芝居セット検討
7月	請戸小プロジェクト会議 2回 HP 請戸小物語制作 広報用パンフレット制作	紙芝居 福島語り部養成 牧之原予行上演（自費） 紙芝居セット制作
8月	請戸小プロジェクト会議 2回 広報用プロモーションビデオ検討 絵本購入者調査検討	紙芝居上演方策の検討 紙芝居 語り部養成
9月	請戸小プロジェクト会議 2回 広報用プロモーションビデオ制作 絵本購入者との連携検討	紙芝居 早稲田上演（自費）
10月	請戸小プロジェクト会議 2回 絵本購入者との連携検討	紙芝居 語り部養成

1 1月	絵本購入者再調査 請戸小プロジェクト外会議 2回 絵本購入者との連携検討	紙芝居 南相馬上演 5名参加 (浪江町語り部支援要請)
1 2月	請戸小プロジェクト外会議 2回 絵本購入者との連携検討	
1 月	請戸小プロジェクト外会議 2回 絵本購入者との連携検討	紙芝居 いわき上演 5名参加 (浪江町語り部支援要請)
2 月	請戸小プロジェクト外会議 2回 絵本購入者との連携検討	
3 月	請戸小プロジェクト外会議 2回 絵本購入者との連携検討	紙芝居 練馬上演 (自費)

※表が足りない場合は、適宜追加してください。

詳細は‘H27年度請戸小プロジェクト外日程計画’を参照のこと。

8 事業の実現性について (200字以内)

※ 当該事業が計画倒れとならないよう、現時点で確定していることや、これまでの経験・実績などを踏まえて当該事業の実現の可能性を具体的に記載してください。

‘請戸小物語’広報活動：前年度実施の絵本や紙芝居の広報媒体活用はそのまま継続することとし、更にWEBによる広報を取り入れる。ここではこの請戸小物語の作品紹介を始め、制作意図と伝える事及び読者、各団体の情報交換などの場を提供できる事を期待している。

紙芝居上演：秋に南相馬、冬にいわきでの上演を企画している。それに先立ち語り部養成や牧之原、早稲田など自費で予行演習を実施する予定である。また、ここで絵本を更に配布致し、避難された方々への勇気をお伝えする。絵本は5,000部印刷後、約4,000部配布し、予想以上に評価を頂いているが、更に紙芝居の上演に際し、増刷が必須と考えている。

9 事業終了後の展開・発展性（200字以内）

※ 仮に平成27年度補助金に採択された場合、平成28年度以降の事業展開について記載してください。

‘請戸小物語’は約5,000部近くを配布したと言う事で、今や浪江の方々を始め、避難物語の社会現象となって来ようとしている。

このような状況の中で、我々が出来る事はあくまで請戸小避難の話をそのまま多くの方に伝えるという事だけである。従って、WEB、絵本、紙芝居を通して人々に勇気を与えるようなものとなってゆきたいと考える。

紙芝居：紙芝居は現在配布していないが、現在のA2版をA3版として配布可能とする事ができる。絵本や紙芝居の作品をWEBで公開したり、外国語に翻訳する事により、更に多くの方々に知って貰う事ができる。

来年度は福島から避難されている全国の方々に紙芝居上演をしたり、英語に翻訳する事で海外の方にも紹介したい。

10 事業の先進性・普及性（200字以内）

※ 震災を契機とした課題に対する取組であり、申請した取組がどのような先進性を有するか、どのようにして他のモデルとなるかを記載してください。

請戸小学校の子ども全員が助かったという事実を絵本‘請戸小学校物語’という形にした事及び紙芝居上演で広めるという手法が先進的であると考えている。

この物語は福島から避難している方々の癒しとなり、更に同じ環境の子どもたちに逃げる場所を考えてくれることを期待するものである。

11 特記事項（アピールポイントなど）（200字以内）

※ 特に説明しておきたい事項、アピールポイントありましたら記載してください。

絵本作成の際、シナリオは早稲田大の方に、イラストは武蔵野美術大学の学生に、更に武蔵野美術大学の齋藤教授に多大なご支援を頂いた。従って、絵本や紙芝居の品質はある程度確保出来たと考えている。

後はこれを本当に必要とされている方に配布したり、紙芝居を上演したりして、感じて頂く事であると考えている。

また、この活動を通し、浪江町の方々を始め多くの避難されている方へエールを送る事ができるのではと考えている。

更に、同じ環境の子どもたちがこの話を知った時、自分には避難すべき場所があるのだろうかと考えてくれる機会を与える事ができるのではと期待している。

12 その他の助成金について

<p>① 当該申請事業について、他の助成金も受けている。 答えが「はい」の場合のみ②へ</p>	<p>はい / いいえ</p>
<p>② 他の助成金を受けているが、当該申請事業と明確に区別することができる。</p>	<p>はい / いいえ</p>

※ 他の助成金を受けた事業と明確に区別することができない場合は応募できません。

ふるさと・きずな維持・再生支援事業 収支予算書

申請者名 NPO 団塊のノーブレス・オブリージュ

【支出の部】

(単位:千円)

区 分	平成 予 算 年度 額	明 細
人件費(共済費を含む)	2,645	DNOスタッフ(60k¥x1名,50k¥x1名,40k¥x4名)x9.5ヶ月 ドライバ手当 南相馬20k¥x2名、いわき20k¥x2名
報償費	54	語り部講師9k¥x2日、南相馬9k¥x2名、いわき9k¥x2名
旅費	390	語り部養成交通費(東京⇄福島)25k¥x3名 語り部養成宿泊費 8x3名 南相馬上演交通費(東京⇄福島)25k¥x3名 南相馬上演レンタカー借用 35k¥ 南相馬宿泊費 8x5名 いわき上演交通費(東京⇄郡山)22k¥x3名 いわき上演レンタカー借用 35k¥ いわき宿泊費 8x5名
需用費 a1+b1+c1	601	
消耗品費 a1	121	語り部衣装20x2名、インク/紙代9x9ヶ月
燃料費 b1	40	南相馬上演ガソリン代20k¥、いわき上演ガソリン代20k¥
印刷製本費 c1	440	紙芝居印刷30k¥x1部、宣伝パンフレット60k¥(1,000部) 配布用絵本350k¥(1,000冊)
役務費 a2+b2+c2	100	
通信運搬費 a2	95	紙芝居連絡通信費10k¥x9.5ヶ月
手数料 b2	0	
保険料 c2	5	南相馬上演0.5k¥x5名、いわき上演0.5k¥x5名
使用料及び賃借料	285	会場使用料 Hello30k¥x9.5ヶ月(2回/月+臨時)
委託料	665	WEB広報担当40k¥x9.5ヶ月、宣伝ビデオ制作60k¥、 パンフレット制作30k¥、請戸小物語HP作成90k¥、 紙芝居セット100k¥(2セット)、宣伝旗制作5k¥
A. 支出合計	4740	千円未満切捨

【自己資金の部】※自己資金は支出合計の2割以上が必要です。

(単位:千円)

区 分	平成 予 算 年度 額	明 細
自己資金(負担者名)	950	NPO 団塊のノーブレス・オブリージュから借用
寄付金等		
その他収入		
事業収入		
B. 自己資金合計	950	千円未満切捨

【補助金交付申請額】 3,790千円 (A. 支出合計 - B. 自己資金合計)